

オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第61号

2011年2月9日

<http://pweb.cc.sophia.ac.jp/s-yuga/asaj2/>

代表理事就任ご挨拶

有満保江

2004年から代表理事を務められた関根政美先生の後任として、2010年12月より代表理事を引き継ぐことになりました。発足以来20数年を経たオーストラリア学会が、新たな飛躍を遂げなければならない時期にあると、その重責を感じております。

これまで関根先生は、研究大会や学会誌の充実、若い研究者を発掘するための関西、関東地区の研究会の開催など、意欲的な学会運営を実施されました。またこの数年間、豪日交流基金の助成による公開講演会、公開シンポジウムを継続的に開催されていることは皆様もご承知のとおりです。これらのプロジェクトは、各理事の方々の多大なる尽力のもとに実施されていることは申し上げるまでもありません。歴史が浅く、小規模な学会ですので、財政的にもまだまだ困難を伴う学会です。こうした助成金による企画は学会の研究活動に大変重要なものとなっております。今後もこれらの企画を引き続き実施していくことは当然ですが、新たな学会の方向性を構築していくこともこれからの課題であると考えます。

今後の目標として、次の三つを掲げます。まず学会員にとって、これまで以上に開かれた学会にすることです。会員の方々とできる限り情報を共有できるよう、さらなる情報の発信に努めます。そして若い研究者の会員が増えていくことを期待します。第二に、効率的な学会運営を行うことです。そのために「会則検討委員会」を立ち上げ、たとえば長年据え置きになっていた会則の見直し等を行い、会員の方々にわかりやすい学会運営を図りたいと考えます。第三に、グローバル化が加速する今日、国内に限定されたオーストラリア研究の枠を超えて、よりグローバルな視点に立った学会活動の展開を目指します。

2014年にはオーストラリア学会25周年を迎えます。25周年という節目に、第三の目標に掲げたプロジェクトが実施できるように、十分な準備を重ねていきたいと考えております。理事の方々をはじめ、学会員の皆様のご支援とご協力を心より願っております。

*2010年12月～2013年12月 代表理事・副代表理事・理事一覧

代表理事 有満保江

副代表理事(総務) 鈴木雄雅

副代表理事(企画) 永野隆行

副代表理事(編集) 加藤めぐみ

理事 飯笹佐代子 加賀爪優 鎌田真弓 川口章 小林信一 塩原良和 関根政美 田澤佳昭

橋本雄太郎 福嶋輝彦 藤川隆男 松繁寿和 南出眞助 村上雄一 安田純子

1. 追手門学院大学オーストラリア研究所 公開研究会のお知らせ

日時: 2011年2月18日(金) 15:00～16:20

場所: 茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学 将軍山会館(学生食堂北隣)

連絡先: 同大学オーストラリア研究所 Tel: 072-641-9667 FAX: 072-643-9476

Email: cas@office.otemon.ac.jp URL: <http://www.otemon.ac.jp/cas/>

交通: JR茨木駅西口南へ7分「マイカル茨木」横、または阪急茨木市駅西口から

追手門学院スクールバス(無料)、ともに14:00発。所要時間約20分。

JR茨木駅から阪急バス88系統「追手門学院前行【14:30発】」もあります。

報告: 「日豪鉄鉱石貿易の歴史と未来像」小林 啓晃(日本電工株式会社 執行役員、もと新日鉄オーストラリア(株)代表取締役)

2. オーストラリア学会 2011 年度総会・全国研究大会 概要

日 時：6 月 11 日（土）・12 日（日）

会 場：早稲田大学・早稲田キャンパス（〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1）

<http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>

※11 日（土）に理事会開催予定

担 当：佐和田敬司（早稲田大学）

□第 1 日目 6 月 11 日（土）13:00～

講演 ジョン・ロメルル（劇作家）

特別企画「ジョン・ロメルル作『ミス・タナカ』をめぐる」

ブルームの日本人真珠貝ダイバーをめぐる幻想的な戯曲『ミス・タナカ』の朗読上演。その後、作者ジョン・ロメルル、演出者和田喜夫、山内由理子（文化人類学）、有満保江（文学）によるシンポジウム。司会、佐和田敬司（文化学・演劇映像学）

懇親会

□第 2 日目 6 月 12 日（日）10:00～

午 前 一般個別研究報告

午 後 理事会・総会

シンポジウム「オーストラリアにおける言語教育政策」

報告者：宮崎里司（早稲田大学）、渡辺幸倫（相模女子大学）／ほか

※プログラムは変更される可能性があります。詳細は会報次号にてお知らせいたします。



3. 第 8 期第 1 回理事会報告（2010 年 12 月 12 日、慶應義塾大学日吉キャンパス午後 2 時から開催）

(1) 代表理事及び監事の選出と役割分担について

理事会冒頭に前関根代表理事が 2 期務めたこともあり辞意を表明した後、立候補および推薦を募った結果、有満保江理事が満場一致で代表に選ばれた。その後、総務担当副代表には鈴木雄雅理事、企画担当副代表には永野隆行理事、編集担当副代表には加藤めぐみ理事が就任することになった。監事 2 名の決定は、有満新代表理事に一任することとなった。そのほかの理事の役割分担に関しては、後日、早急に決定することとし、その間は、これまでの各部門担当理事が業務を遂行することとした。

(2) 学会報発行状況（第 60 号）、および発行予定案（第 61 号、第 62 号）について。

(3) 学会誌『オーストラリア研究』第 24 号（2011 年 3 月発行予定）編集進捗状況

(4) 全国研究大会準備状況について。

早稲田大学にて 2011 年 6 月に実施する。（2 頁 2. 参照）

(5) 地域研究会の報告(3.4 頁 6.7. 参照)

(6) AJF 助成事業について。

追手門学院大学(3 頁 5. 参照)、日本女子大学での実施報告があった。春期事業は慶應義塾大学で予定。次年度助成金（3 月申請、6 月結果通知予定）は運営委員会にて企画準備する。AJF 助成事業に関して、会計処理業務が膨大であることから、新執行部にて会計担当者の負担軽減策について検討する。

(7) ホームページについて

国立情報学研究所のサーバーが 2012 年 3 月をもって停止されるため、これに対処する。

(8) メールマガジン配信について

(9) 新規入会 5 名を承認する。また、退会者 2 名の報告がなされた。

出席者＝有満保江（新代表理事）、飯笹佐代子、加賀爪優、加藤めぐみ、鎌田真弓、小林信一、塩原良和、鈴木雄雅、関根政美、田澤佳昭、永野隆行、橋本雄太郎、福嶋輝彦、南出眞助、松繁寿和 村上雄一（以上理事）

4. 第12回地域研究会（関西）のお知らせ（追手門学院大学オーストラリア研究所共催）

*非会員の方も参加できます。同時通訳付き。

日 時：2011年2月26日（土）14：00～17：00

場 所：茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学5号館3階 5301教室

連絡先：同大学オーストラリア研究所 Tel：072-641-9667 FAX：072-643-9476

Email：cas@office.otemon.ac.jp URL：http://www.otemon.ac.jp/cas/

交 通：JR茨木駅西口南へ7分「マイカル茨木」横、または阪急茨木市駅西口から
追手門学院スクールバス（無料）、ともに13：10発。

テーマ：オーストラリアの子どもの福祉と保育を考える

報 告：

(1)「オーストラリアの多文化保育：シドニーとブリズベンの事例から」 平野知見（京都造形芸術大学）

【要旨】多様な背景をもった子どもたちが在籍するオーストラリアの保育園において、乳幼児期の五感経験と造形芸術をどのように日常の保育に取り入れているのか、またなぜその必要があるのかを、NSW州及びQLD州のLONG DAY CENTREを事例として明らかにする。

(2)「クイーンズランド州の障害児教育」 ピーター・デイビス（イプスウィッチ特別支援学校）

【要旨】クイーンズランド州の特別支援教育について、下記のトピックを中心に述べる。

①特別支援教育の定義およびプログラムの内容（就学前の早期介入、小学校での介入、中学校での介入、特別支援学校、保護者との協力関係等）、②インクルーシブ教育、③児童福祉と安全、④校則の問題、⑤地域および行政との協働、⑥政府の方針

*コメンテーター：齋藤昭（社会福祉法人大木会）

※地域研究会（関西／関東）に関しては、発表者が大学院生の場合に限り、居住地と例会会場間の交通費に関し、主要都市間の交通費実額の半額を、1万円を極度額として補助します。

5. 豪日交流基金助成 オーストラリア学会後援 追手門学院大学オーストラリア研究所主催

教育シンポジウム「オーストラリアをどう教えるか」報告

南出眞助

去る2010年11月27日に、追手門学院大学で開催された。後援団体は他にオセアニア教育学会、および近畿の5府県の教育委員会であった。冒頭の基調講演は、ケイト・ダリアンスミス氏（メルボルン大学、国際オーストラリア研究学会 InASA 役員）による”Research, Teaching and Cultural Diplomacy : the current profile of Australian Studies in Japan”と題した、日本におけるオーストラリア教育に関するアンケート調査結果の分析。続いて大学部会と高校部会とに分かれ、大学部会の座長は関根政美氏（慶應大学大学院）が担当。報告は、窪田幸子氏（神戸大学大学院）「先住民をどう教えるか」、松田陽子氏（兵庫県立大学）「多文化主義をどう教えるか」、森島覚氏（追手門学院大学）「経済・社会をどう教えるか」、加賀爪優氏（京都大学大学院）「資源・環境をどう教えるか」の4本。高校部会の座長は南出眞助（追手門学院大学）が担当。報告は、田中清隆氏（大阪府立今宮高校）「授業『地理』でどう教えるか」、的場由樹氏（私立羽衣学園高校）「総合学習で何を学ばせるか—高大連携を中心に—」、藤川誠氏（私立追手門学院高校）「修学旅行で何を体験させるか」、柳田優氏（大阪府立旭高校）「姉妹校の生徒をどう受け入れるか」の4本。最後に総合討論を行い、大学・高校の教育現場からさまざまな質問、意見が出たが、残念ながらやや時間不足であった。関係者も含め約80名の参加があった。

6. 第11回地域研究会（関西）報告

藤川隆男

オーストラリア学会第11回地域研究会を、2010年9月30日（木）14：30-17：00に、大阪大学文学研科・大会議室において、大阪大学文学研究科西洋史研究室との共催で開催しました。シドニー大学名誉教授、ネヴィル・メイニー氏（Neville Meaney）が”Australia Engages with Asia? Reflections on the Remaking of Australian-Japanese Relations from the End of World War II”と題する講演を行い、コメンテーターに福嶋輝彦（防衛大学校・教授）と永野隆行（獨協大学・准教授）の両氏を迎えて、活発な意見交換を行いました。司会と進行は、藤川隆男（大阪大学・教授）、津田博司（京都大学・日本学術振興会特別研究員）が勤めました。メイニー氏は、オーストラリアを代表する国際関係の専門家で、アジア・太平洋研究のオーストラリアにおけるパイオニアです。この研究会の報告書は、『パブリック・ヒストリー』第9号に掲載予定です。2011年4月以降に大阪大学文学部西洋史研究室のURLをご参照ください <http://www.let.osaka-u.ac.jp/seiyousi/info-1.html>。

7. 豪日交流基金助成 第3回地域研究会（関東）報告

塩原良和

2010年12月11日（土）の14時-17時、慶應義塾大学三田キャンパス101教室にて第3回地域研究会（関東）が開催されました。年末で他のオーストラリア研究関連の行事と重なったこともあり、参加者は10名程度と少なめでしたが、その分密度の濃い討論が行われました。濱野健氏（西シドニー大学博士課程）の報告『女性化』する在豪日系コミュニティ：日本人婚姻移住者の『居場所』探しから見える、エスニシティとジェンダーの交差点』では、綿密なフィールドワークに基づいて在豪日系人コミュニティの変容が考察されました。それは塩原良和（慶應義塾大学）の報告「北海道ニセコ地域におけるオーストラリア人向け観光と多文化共生」によるオーストラリア人観光・不動産業者や移住者による日本の地域社会の変容の考察と興味深い対比をなしており、その点は川嶋久美子氏（オーストラリア国立大学）のコメントによつて的確に指摘されました。オーディエンスには在豪日系人調査や観光に関する調査を行っている若手研究者も多く、例会終了後には有意義な交流が行われました。

8. 『オーストラリア研究』投稿募集および研究文献目録掲載のお知らせ

『オーストラリア研究』に掲載する論文を募集しています。投稿はいつでも受け付けておりますが、次号25号に掲載する論文の投稿は8月末日が締め切りです。詳細は、学会ウェブサイト、もしくは24号掲載予定の「投稿要領」（2009年7月12日一部改定）をご覧ください。

また第12号以降、会員の研究文献目録を継続して掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などのなかから、オーストラリア学会の趣旨に関係する目録未掲載の研究文献を選び、お知らせください。締め切りは2011年10月30日（期日厳守）。編集作業の都合上、電子メール（またはテキストファイルを含んだFD）をご利用ください。記入例はバックナンバーを参照し、掲載書式に必ず準ずる形でお送りください。

投稿先：〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル8階 CANPAN センター内

ACNet オーストラリア学会事務局担当

Tel 03-5251-3967 / Fax 03-3504-3909 / E-mail ac056-asaj@canpan.org

新刊書のご案内

◎近藤敦・塩原良和・鈴木江理子編著『非正規滞在者と在留特別許可——移住者たちの過去・現在・未来』日本評論社、2010年11月（価格：税込み 5,985円 ISBN：978-4-535-51807-0）

出版社ウェブサイトによる紹介 <http://www.nippyo.co.jp/book/5464.html>

※塩原良和「オーストラリアの難民申請者政策——溶け合う『国境』と『国内』」所収（231-249頁）

【諸届出／連絡先】〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル8階 CANPAN センター内
AcNet オーストラリア学会事務局担当 Tel 03-5251-3967 Fax 03-3504-3909 E-mail ac056-asaj@canpan.org

【オーストラリア学会事務局】

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学文学部新聞学科内 鈴木雄雅研究室気付

電話 03-3238-3983 FAX 03-3238-3094 Email: HAF00025@nifty.ne.jp

会費振込先：00190-3-157063 加入口座名：オーストラリア学会

※本会報は学会記録以外に、会員のご意見やご要望を掲載します。意見、著書、新刊、訳書、投稿など、ACNet事務局担当までお送りください。なお紙面の制約上、掲載できない場合がありますことをご了承ください。

【編集担当：塩原良和（慶應義塾大学）】